

なつ せいざかいせつ  
夏の星座解説

夏。遠くの花火を眺めながら、  
お風呂上がりに浴衣を羽織って、夜の郊外を散歩する…。  
夏ならではの楽しみ方ですね。  
でもついでに、ちょっと足を止めて、頭の上も見上げてみませんか？  
にぎやかな夏の星々が、あなたを迎えてくれるはず…。



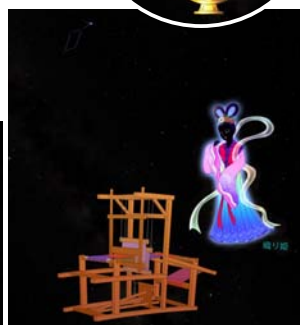
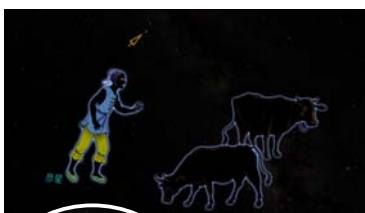


# なつ せいざかいせつ 夏の星座解説

夏。遠くの花火を眺めながら、お風呂上がりに浴衣を羽織って、夜の郊外を散歩する…。夏ならではの楽しみ方ですね。でもついでに、ちょっと足を止めて、頭の上も見上げてみませんか？ にぎやかな夏の星々が、あなたを迎えてくれるはず…。  
(約 17分)

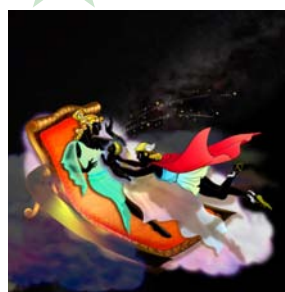
## こと座のベガからわし座のアルタイルへ

夏はまず、真上を向きましょう。ひときわ明るい星が、真っ白な輝きを放っています。これは、こと座の一等星、『ベガ』。夏の星空でもっとも明るい星です。こと座の琴をかたどる平行四辺形の星の並びは、西洋ではオルフェイスの竖琴をさしますが、日本では機織り機に例えられます。そう、ベガは七夕の織り姫星のことです。



織り姫様が見つかったら、今度は彦星様を探してみましょ。ベガから機織り機の方へずつとたどって見て下さい。ベガよりちょっと暗めの一等星が彦星。別名『アルタイル（飛ぶ鷲）』。これは、わし座。神々の王ゼウスがわしに変身して少年をさらっているところなんです。

## 夏の夜空でにらめっこ? ~ヘルクレス座とへびつかい座の神話~



夏の大三角の西側に、ちょっと崩れたアルファベットのHの形に並んだ星々があります。これがヘルクレス座。神話では、生まれながらの怪力で数々の難事業を成し遂げた英雄ですが、ゼウスのお妃、ヘーラのこわい嫉妬にあい、悲劇的な一生をたどります。でも、ヘルクレスが赤ん坊の時、ヘル

メスという足の速い神様が、こっそりヘーラの乳を飲ませたおかげで、不死身の体を得ることが出来ました。そのヘルクレスと顔をつきあわせてにらめっこしているのが、へびつかい座。ギリシャの名医、アスクレピオスの星座です。手に持った蛇の魔力で、どんなけが人も病人も治してしまいましたが、死んだ人まで生き返らせてしまったので、神の雷に打たれて、命をおとすこととなりました。



## 夏の大きな三角 ~ベガ、アルタイル、デネブを結んで~

ベガとアルタイルの間に、十字架の形に並んだ星がわかりますか？ 大きく羽を広げた鳥の姿をしたはくちょう座です。そのしっぽにある明るい星は『デネブ』という一等星。



ベガとアルタイル、そしてこのデネブの3つの一等星を結んでみると、きれいな三角形ができますね。これが『夏の大きな三角』です。この大きな三角を使って、北の方角を知る事ができます。デネブとベガを結んだ線を中心にアルタイルと反対にパタッと倒してみると…。北極星に行き当たりました。つまりこの方角が北というわけです。



## 南の空の星座たち ~さそり座、いて座~

南の空、低いところ、アルファベットのSという字の形に並んだ星がありますね。しっぽに猛毒を持ったさそりの星座です。そんなさそり座を、東側から弓矢でねらっているのが、上半身が人間、下半身が馬という奇妙な格好の賢人ケイロンの星座、いて座です。実はヘルクレスもアスクレピオスもみんな、この人の弟子なんです。



このさそり座といて座の間から、ずっと上の方へ、はくちょう座を通して北の空へと続く、ぼうっとした白いものが見えたとしたら、それは雲じゃなくて天の川なんですよ。

語り：鶴ひろみ CG：NOBO 星座・神話イラスト：塚田洋子